

繕たり
四中
学校だより

磨き合ふ

14限目
11月7日(金)

これからの中のために…

今週から、生徒会役員改選の立候補者の受け付が始まりました。すでに生徒会役員として立候補をする人たちが出てきてくれています。ありがとうございます。これからの四中をいはば「アリ」と思います。当然選挙ですが、当選、落選がありますが、私はそこは関係ないと思います。出てくれた人たち全員でこの四中を変えてもらいたいのです。一部の人たちだけが元気でも、学校というものはなかなか変わりません。全員が協力するからこそ、様々な課題に対して乗りこなすことができるのです。そして「エジ」のアリの話をひとつ。

世界一長いナイレ川。長さもさることながら、川幅も相当なものです。広い所では50-60kmもあるそうです。この川を「アリ」が渡るのだそうです。一度に3000匹も。では、どうやって渡るのか? それは、まずたくさんのアリが集まり、サッカーボールほどの大きさになり、川に浮かんで流れています。でも、普通に考えると、3分の1のアリは水の上に出るので大丈夫ですか? 3分の2のアリは水の中に沈んで、このままで2000匹が死んでしまうことになります。しかし、不思議なことに、3000匹のアリは全部溺れずにナイレ川を渡り切るのです。

では、どうやって??

実は、このアリたちは、流されていく途中で、次々に上と下が入れかわっていきます。水面アリ下にいる時は、苦しくても上のアリのためにがまんし、上になると、ゆっくり呼吸をして、また下に来て他のアリを支える準備をする。これをくり返し、気の遠くなるような距離を何日もかけて渡ります。



ナイレ川を渡ると、うな共通の目的を果たすために、水の中での苦しい支え役を交代しながらみんなで協力していきます。もし、わがままをアリがいて、水の上をひとりじめにしていたら、水の中で支えているアリは、次から次に溺れて、ついには水面上のわがままアリを含めて、全部溺れ死んでしまいます。学校生活でも同じです。少しの我慢をみんなで分かち合ひ、目標に向かって中学校生活といは川をみんなで渡り切る。楽しいことだけでなく、嫌なことも、お互い我慢し合ひ、の学校生活です。お互い支え合ひ、みんなで勉強や行事にとりくみ、いいものにしていかなければなりません。さらに、これはクラスや学年でも同じことが言えます。同じ集団でも、全体の雰囲気を良くしていくと行動する人が増えてくると、全体が落ちついた雰囲気になります。逆に嫌なことを言ったり、さわぐ人に同調する人が多くなったりすると、全体が落ちつかない集団となります。これはどんな集団にもあてはまるそうです。専門的には『社会的促進』ソシエイチといいます。だから、今回、生徒会でがんばる、という人が多く出てきていることは、これから四中がよりいい方向に変わり始めている証拠です。その足がかりを作ってくれた3年生にも感謝ですし、その流れを受けつぎうとしてくれている1、2年生にも期待しています。

この『社会的促進』をいい方向に向けて、みんなでいい四中を作りましょう!!

素晴らしい3年の合唱

今週は玉名荒尾中学校音楽会もあり、3年2組が代表で参加しました。私は出張が重なり、終わった後に2組の生徒に声をかけることができませんでした。今言わせてもらうと、競争でないので順位はありませんが、トップレベルだったと思います。ほかの校長先生方からも絶賛でした。ある中学校の校長先生はわざわざ後で電話をしてこられて『四中はすごかったね、姿勢も歌声もプロがおるかと思ったよ。うちの生徒も「どこがよかつたや?」と聞いたらみんな「四中がすごかつた」と言ってたよ』と教えてくださいました。

同じレベルで競い合ってくれた1組の人たちも含め、3年生の皆さん、本当に素晴らしい歌声をありがとう。

1、2年生は来年、この先輩たちを超えてくださいね。

返信よろしく
お願ひます



感想OKです